

記入例

令和 年 月 日

精華町長 様

施設等利用費請求書（償還払い用）

幼稚園・認定子ども園・特別支援学校幼稚園の預かり保育事業の施設等利用費

【令和 年 月～令和 年 月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下さい。

なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

1. 申請者と認定子どもが精華町内に居住していることを精華町が住民基本台帳で確認すること。
2. 実際の利用状況等や利用料の請求・支払い状況について、精華町が施設等利用給付認定保護者に確認すること。
3. 課税状況を精華町が確認すること。

保護者様（本案内送付先）の情報を記入のうえ、押印をお願いします。

1. 施設等利用給付認定保護者（請求者）（※1）

フリガナ	セイカ タロウ	認定子どもとの続柄	父	生年月日	昭和 60 年 1 月 1 日
氏名	精華 太郎			現住所	精華町大字南稻八妻小字北尻70番地 電話：080-1234-5678

※1 施設等利用給付認定通知書に記載の保護者氏名を記入してください。

2. 認定子ども(認定子どもごとに申請して下さい)

法第30条の4の認定種別	<input type="checkbox"/> 第2号 <input type="checkbox"/> 第3号	認定番号	第 1 2 3 4 号
生年月日	平成 28 年 4 月 2 日	フリガナ	セイカ ハナコ
令和4年4月1日～令和4年6月30日の間の住所	<input type="checkbox"/> 現住所のとおり <input type="checkbox"/> 転入した <input type="checkbox"/> 転出した	氏名	精華 華子
上記で転入または転出に該当した場合は転入・転出日を記入			

対象期間の住所について、当てはまるものに☑

3. 在籍する幼稚園・認定子ども園・特別支援学校について記入

フリガナ	セイカヨウチエン	所在地	〒619-0285 精華町大字南稻八妻小字北尻70番地 電話：0774-95-1906
施設名称	精華幼稚園	(町外の場合のみ記入)	
令和4年4月1日～令和4年6月30日の間の在籍状況	<input type="checkbox"/> 期間中在籍 <input type="checkbox"/> 途中入園した <input type="checkbox"/> 途中退園した		
上記で、途中入園または途中退園に該当した場合はその年月日を記入	令和 4 年 6 月 1 日		

対象期間の在籍状況について、当てはまるものに☑

4. 償還払いの振込先を記入して下さい(※2)

金融機関名	預金種目	<input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 当座						
精華 銀行・信用金庫 精華 支店	口座番号	1	2	3	4	5	6	7
	出張所 口座名義(カタカナ)	セイカ タロウ						

※2 申請者と口座名義が異なる振込先を指定する場合は、委任状を提出してください。

<裏面も記入して下さい>

5. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合は記入(※3)

※①～④に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。

①	フリガナ	セイカホイクシヨ	所在地	〒 619-02××
	施設名	せいか保育所 (一時預かり事業)		精華町〇〇一丁目1-1 電話：0774-95-××××
②	フリガナ	セイチヨウシヤカイフクシキョウギカイ	所在地	〒 619-0243
	施設名	精華町社会福祉協議会 ファミリーサポート事業		精華町南稲八妻砂留22-1 電話：0774-94-4573
③	フリガナ		所在地	〒
	施設名			
④	フリガナ		所在地	
	施設名			

在籍する幼稚園の預かり保育以外で利用された施設等（認可外保育施設、一時預かり事業など）があれば、その施設について記載してください。
ただし、在籍する幼稚園の預かり保育以外についても無償化の対象となるには、「※3」記載の条件を満たす場合に限り、該当の可否については在籍する幼稚園か、その幼稚園の所在地市区町村に確認してください。

※3 「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」とは、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又は年間（平日・長期休業中・休日の合計）開所日数200日未満の場合のみです。

6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※4参照)における施設等利用費の償還払い請求の内訳を記入

利用年月	在籍園の預かり保育事業				認可外保育施設等に支払った金額(d) ※4 ※5	請求額 ※6 ('c+d' か月額上限額の低い方を記入)
	施設に支払った金額(a) ※5	利用日数	対象額(b) (450×利用日数)	aとbの金額の低い方を記入(c)		
令和4年4月	㉑ 2,000円	4日	㉒ 1,800円	㉓ 1,800円	㉔ 10,000円	㉕ 11,300円
令和4年5月	2,500円	5日	2,250円	2,250円	0円	2,250円
令和4年6月	1,000円	3日	1,350円	1,000円	0円	1,000円

預かり保育事業の提供日数を記入

aとbの低い方の額を記入

cとdの合計額を記入。
ただし11,300円を超える場合は11,300円と記入（3号認定の方は16,300円）

特定子ども・子育て支援利用料の額を記入。
特定子ども・子育て支援利用料以外（日用品や食材料費等）は対象となりません。

利用日数×450円の金額を記入

在籍する幼稚園の預かり保育以外（一時預かり事業等）を利用した場合、その利用料の合計記入。
日用品や食材料費などは対象となりません。

※6 月額上限額は、法第30条の4の認定種別が第2号の場合は11,300円、第3号の場合は16,300円となります。「c+d」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入して下さい。

合計請求額 **14,550** 円

4月から6月までのeの合計額を記入
※この欄は訂正不可です。
誤記の場合は書き直しとなりますのでご了承ください。